

播磨中学校

校訓

「明朗・自治・創造」



赤松幸子 校長

教育目標 人間尊重の精神を基盤に知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する。

努力目標 「基本的な学習・生活習慣の定着と育成」

- ①一人ひとりを大切にする授業づくり
②自分たちで支える学級づくり
③「あいさつ」からはじめる温かい人間関係づくり

重点課題

- ・学習指導の充実(指導と評価の一体化)
・道徳・学級活動の充実
・不登校対策
・学校教育啓発活動
・特別支援教育の充実
・心ふれあう生徒指導
・安全・安心の学校づくり



経営方針

- ・全職員が全生徒と深く関わり合う
・自ら学ぶことに喜びを持つ教育活動を行う
・生徒と共に、グローバルな視点に立った「生き方」を考える
・「環境が人をこけり、人が環境をつくる」の姿勢で取り組む

- ・家庭・地域との連携を密にする
※「元気で明るい学校」づくりを目指して生徒・教職員共に日々頑張っています。地域の皆さまのご支援・ご協力をよろしく願っています。
生徒会スローガン
『○○(ハレルヨ) change・create・challenge』
http://www.harimaj.ed.jp/

播磨南中学校

はばたけ南っ子 本気で何事も 優しさを友達に



福壽実 校長

本年度の努力目標

「個が活きる学級づくり」「秩序ある学校づくり」

重点課題

- 〈学習指導〉
・指導と評価の一体化
・個に応じた進路指導
・評価方法の工夫
〈道徳・学活〉
・生き方、社会性、道徳実践力の育成
・学級会、委員会、生徒会の充実と活性化

特別支援教育の充実

- ・生徒理解と学習指導の工夫
・スクールAとの連携と指導の充実
・コーディネーターとの連携と

生徒指導の徹底

- ・家庭・地域・関係機関との連携強化
・校長との個別面談(3年生)
・安全安心の学校づくり
・防犯・防災教育の充実
・不審者対応



学校業務改善実践校としての取り組み

- ・心肺蘇生やAED研修
・ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活デー
http://www.harinan.ed.jp/

播磨小学校

「知・徳・体」の調和のとれた 播磨っ子の育成



原堅 校長

ピカピカの87人の新入生と1学年ずつ進級した在校生を合わせて54人、21学級で本年度がスタートしました。学校は、子どもや保護者から信頼されることが何より大切です。その意味から学習面においても生活面においても昔からたいせつにされてきた「こく当たり前」のことを当たり前にできる子どもに育てる「こと」だと考えます。そのためには、教職員が温かいまなざしで子どもを見つめ、「認め、ほめ、励ます」ことを教育の基盤に据え、共に、粘り強くがんばりぬがせる厳しさを大事にしていきたいと考えています。そして、「やればできる」という自信を持たせ自尊感情を培ってまいります。

努力目標

- ①基礎基本の充実と確かな学力の向上を図る
・わかる授業の創造に努める
・兵庫型教科担任制及び少人数によるきめ細かな指導を工夫する



- ②ともに生きる豊かな心を育む
・道徳、総合的な学習の時間を中心によりよい生き方を求め、豊かな人間性を育成する
・児童会活動、ワーク活動、縦割り班による播磨っ子活動などの活性化を図る
③生涯を支える健康・安全教育を推進する
・体育の授業を通し、克服種目を重点指導し、達成感や成就感を持たせる
・正しい食生活を考える食育の充実や基本的な生活習慣の育成を図る

蓮池小学校

挑戦・変革・追究

Hasuike Styleを求めて



林裕秀 校長

教育目標

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

子どもが自らの力で自己実現を図ることができるように、豊かな心と確かな学力、それらを支えるたくましさや身につけさせていきたいと思えます。そのために、今年度は特に、学校が組織としての力を発揮できる教育の創造に取り組みます。

本年度の主な取り組み

- ・Hasuike Styleの追究 子どももの立場に立つて何が一番有用かを考え、給食指導や清掃指導、板書の方法など、学級や学年の枠を越えて、指導の統一を図ります
・言葉の力の育成 2年間の「ひょうご」学力向上推進プロジェクトの指定を受け、「説明する理数教育」をテーマに、確かな学びにつながる授業を構築します



- ・課題教育の充実 禁煙や薬物乱用防止などの健康教育、県立考古博物館や「ゆめつくり塾」などと連携した環境教育、6年生の「職業人と語ろう」を核としたキャリア教育など、課題教育の推進と充実を行います。

登下校の見守りや教壇作り、キャンプ、整地、読み聞かせ、バザー、ほめて育てる蓮池っ子事業など様々な面で、保護者や地域の皆さまの力をお借りしています。今年度も地域の学校を目指して、実効力のある挑戦を続けます。ご支援、ご協力をお願いします。
http://www.hasuike.harimakyokujp

播磨西小学校

夢かがやき

ともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成



若松育雄 校長

教育目標

新学習指導要領が小学校において完全実施される本年、なお一層子どもたちに「生きる力」を育むことが私たちに求められています。変化の激しいこれからの社会をよりよく生きていくために、知・徳・体のバランスのとれた教育が必要です。

本校では、昨年度の成果と課題に基づき、「学びの充実」を主テーマとして、教育実践を行います。

- 「学び」の力は、次のような3つの力です。
1 基礎的・基本的な確かな学力
2 共に生きていくための協調性・思いやり・忍耐力
3 「食」に対する知識・態度を含めた、たくましい健康な体力

また、この中でも以下の2点を主軸として教育活動を展開していきます。
(1) 言語教育の充実
(2) 豊かな心の育成

言語教育の中心となる「ことば」の学習は、各教科の基礎的な力となるばかりでなく、社会の中で生活する上で必要不可欠な力です。心の豊かさは、自分ばかりでなく、人と共に生きていく上で何より重要なものであると考えます。

本校では、以上のような考えに立脚し、地域・家庭の皆様のご理解とご協力を得ながら、本年度の教育を推進してまいります。

播磨南小学校

わくわく登校・いきいき学び

みんな下校



石井勝彦 校長

子どもが、通うことが楽しみの学校

保護者が、安心して通わせたい学校

職員が、働きたいのある学校

特別でない「特別支援」

つまずきのある子ども・配慮のいる子どもにとって「ないと困る支援」「つまずきのない子ども・どの子どもにとっても「あると便利な支援」を推進します

身につけたい「基礎・基本」

全学年の算数は、2人教員による指導または少人数指導を実施します。さらに、全学年の体育は、教員2人体制で授業を実施します

学級会活動や児童集会・アルミ缶牛乳パック回収・サプライズ祭りなど児童会活動を充実させるため、子どものアイデアを生かし、主体的な運営を推進します



楽しく「体つくり」

・言葉を大切に「コミュニケーション」を推進し、あいさつや礼儀、TPOに応じた言葉づかいや態度が取れるようにします
・休み時間の外遊びを奨励し、元気に遊ぶ子どもの育成に努めます
・「体つくり運動」、なわとび検定などを充実させ、体力向上を推進します
・楽しくおいしい学校給食を通して、食事の大切さやバランス良く食べる習慣を身につかせます

校外活動を振り返って



▲集団行動

播磨中学校

1年生は、5月14日、15日に1泊2日で、明石市立少年自然の家において校外活動を行いました。前日までの大雨から一転、風薫るさわやかな五月晴れのもと、様々な活動に取り組みました。集団生活をする事により、時間を守る事、仲間を大切にすること、團結すれば何事も達成できることなど、たくさんのごことを学びました。

2日目の午前中に行われた集団行動コンクールでは、どのクラスも、練習の成果を發揮しようと素晴らしい集中力と団結力で演技に臨みました。皆が心一つに真剣に取り組む姿は、実に感動的で見ているものは胸が熱くなり、涙を流す教師は1人2人ではありませんでした。

この2日間を通して学んだことを、ぜひ今後の中学校生活に生かして欲しいと思います。

大中遺跡に行ってきたよ!



▲まるで兄弟姉妹のようです

播磨小学校

5月13日は、待ちに待った遠足でした。前日まで雨が降り続き、心配していましたが、当日は朝から晴れてくれました。

教室に行くと、子どもたちはリュックサックを机の上にきちんと置いて、静かにすわって待っていました。運動場でペアの6年生と手をつないでもらい、さあ出発です。

大中遺跡に着くと、早速遊んでもらいました。お弁当も一緒、トイレに行くのも一緒、ペアで写真も撮りました。風が強く、シートをかたづけにくそうにしていた1年生にそつと手を貸す6年生、けんかをしそうになった1年生を「やめとけ」と止める6年生。

日頃、もう小学生なんだから…。と言われている1年生ですが、この日は思いきり6年生に甘えた1日でした。

環境体験 やしろの森



▲スタンプラリーに挑戦です

蓮池小学校

5月6日、3年生は、環境体験学習で加東市「やしろの森公園」を訪れました。バスに乗り約1時間で、やしろの森に到着しました。バスを降りると、山の中。新芽の木々たちに囲まれて、すっかりいい気分でした。

森の入り口では、マスコットキャラクターの「ヤッシー君」がお出迎えをしてくれました。森の掟を教えてもらい、胸はわくわく、さあ、探検に出発です。サポーターの方たちの力を借りて、スタンプラリーに挑戦しました。森の中のポイントを探しながら進むのです。途中、ウグイスや小鳥の声、カエルの鳴き声、風の音まで聞こえてきました。生き物もたくさんいました。ザリガニを初めてつかんだ子も。アイガモは、ザリガニが好物だということも知りました。色とりどりの草花も咲き乱れていました。春の自然に囲まれた1日でした。

大きな 大きな タマネギがとれたよ!



▲「見て!大きいよ」

蓮池幼稚園

年中児のときに植えたタマネギの苗が育つのを楽しみにしていた年長児。今日はタマネギを収穫する日です。なかよし畑に着いてタマネギを見つけ、先生の「せーの」の合図で子どもたちは「よいしょー」と言いながら、力いっぱいタマネギを抜きました。「見て!大きいよ」と驚いて友達同士で見せあいつ。今年のタマネギは大きくて豊作でした。抜いたタマネギは、両手に持てるだけ持って、大事に道に落とさないように幼稚園まで帰りました。年少、年中児もおみやげに持って帰りました。収穫したタマネギで「どんな料理しよう」と楽しんでいる子どもたちです。



国宝姫路城に行ってきました!!



▲「天空の白鷺」の前で

播磨西小学校

5月2日、ゴールデンウィークの谷間の日。青い空。夏を思わせるような陽気の日、4年生は国宝姫路城の遠足に出発しました。姫路城の大手守はただ今工事中。建物の中にすっぽりと覆われています。その建物の名前は「天空の白鷺」その中にはエレベーターがあり、大手守の屋根の工事の様子をつぶさに見ることが出来ます。また最上階からは姫路の町の様子もよく見えて、大手守の高さも実感してきました。

また、伝説の「お菊井戸」の中をおそるおそるのぞきこんだり、秀吉ゆかりの「姥が石」を発見したりと、子どもたちは大満足でした。4年生の社会科では「わたしたちの県のよゆうす」を学習します。その単元の学習前に「兵庫県」自慢の国宝姫路城をたっぷりと探検でき、また、広場でのびのびと遊び、すばらしい春の1日を過ごしてきました。

ウメジュース、はやくのみたいなあー!



▲そこ、そこ!!

播磨幼稚園

「わあー! きれい!」と2月に楽しんだウメの花が実になりました。「だんだん大きくなる!」と見ていた実が収穫の時を迎えました。「そこ! そこ!」「その上にも!」と、にぎやかにウメの実をとる子どもたち。「手がバタバタしてきた!」「この実、誰かに食べられてる!」などと言いつつ、90個を収穫しました。ウメジュースをつくることになり、氷砂糖とウメを交互に瓶に入れました。子どもたちは次の日、瓶の中の様子を見て「氷砂糖が溶けてる!」と、変化に気付きました。それから、ウメ博士に変身した子どもたちは、「ウメが浮かんだ!」「ウメがしわしわになってる!」など、日々の変化に気付きジュースができていくのを楽しみにしています。おいしいジュースが飲めるのはいつかな…?

